

# 大軍拡で 沖縄・南西諸島 が軍事要塞に!?



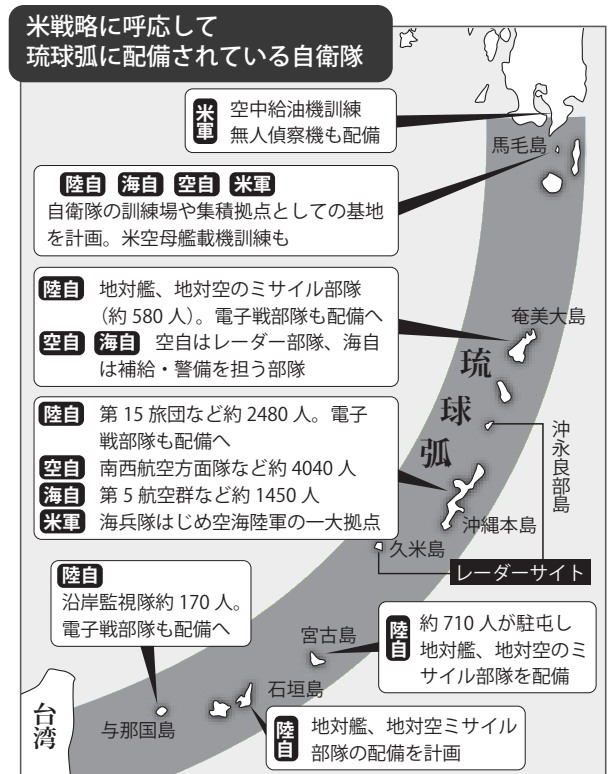
昨年末に閣議決定された「安保3文書」で、沖縄・南西諸島がさらに軍事要塞化されようとしています。「沖縄を再び戦場に  
するな」の声が広がっています。

南西諸島ではすでに自衛隊の対艦・対空ミサイル部隊が奄美大島、宮古島に配備され、今後は石垣島、沖縄本島にも配備予定です。さらに与那国島への対空ミサイル部隊配備や、沖縄本島の陸上自衛隊の大増強、長期間の戦争に備えた弾薬などの補給拠点も作る計画です。

## 辺野古に100年使える基地

岸田政権が強行する沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設は、「世界一危険」と言われる宜野湾市・普天間基地の「負担軽減」を口実にしています。しかし辺野古の新基地は耐用年数100年とも言われ、普天間基地になかった新たな機能も伴う一大軍事要塞化計画です。いくつもの不具合を抱え事故を繰り返すオスプレイを、有事には100機展開します。

普天間基地の危険性除去のためには、辺野古に「代替」基地を建設するのではなく、米国政府に普天間基地の即時運用停止と撤去を求める以外にありません。



## 対話の枠組みと非核化を ー再び戦場にさせないために

「戦争になれば真っ先に標的にされるのではないか」という懸念が沖縄で広がっています。日本が戦場となるとしたら、米中の軍事的対立に自衛隊が加わり、その反撃として在沖米軍や自衛隊基地が攻撃

される事態です。

沖縄を戦場にさせないために日本政府がすべきなのは、憲法9条の立場で外交に徹し、東アジアの対話の枠組み作りと非核化実現に力を注ぐことです。

「辺野古新基地建設の断念を求める署名」にご協力を!



日本平和委員会

2023年1月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです

「平和新聞」(旬刊)、「平和運動」(月刊) 発行中

<http://j-peace.org/> (t) (f)

